



隧道工事編と隧道會議錄

此の出版に關しては鶴田社長から何かの記事を書かれる筈でありましたが、目下多忙の際でしたから取あへず私が代理致す事となりました。私も忙中の短編で責を免れる事に致します。(岡崎生)

隧道工事編

1

四六倍判三百八十頁の内に九十の圖版と百十二の表を含む、形から云ふと丸善發行の田邊博士のトンネルと同形で少し木の厚いのが異ふ丈である。

内容は四編に分ち第一編は尾三電力株式會社の時瀬水力工事を二百四十六頁に第二編は山陽鐵道船坂隧道工事を四十七頁に、第三編は參考資料として煉瓦記事と大正四年工事の木戸山隧道崩壞記事と臺灣の埤洲隧道工事記事とフオックス氏ピース氏の時瀬工事の視察記事と著者の感想等を二十三頁に編纂したものである。

2

岩石隧道の掘鑿工事に就て私達の經驗は合理的な穿孔を迅速にやる
合理的な爆發をやる
礪出を迅速にやる

此の三つの仕事に對して根本の注意點は

- 一 良く準備する事
- 二 迅速にやる事

機械類を多く使用する場合には特に用意周到なる材料器具設備の準備が先づ第一である、之が出来たら次は傍目もふらず疾風迅雷

的に迅速なる作業をするのである。特種な條件の生じない限りは隧道工事は此丈の實行であります。私は本書が西畑氏の貴重なる體驗から得られたノートから出来てをるご聞いてをつたので、本書の内から必ず此種の實行の何物かを期待してをつたのであります。

3

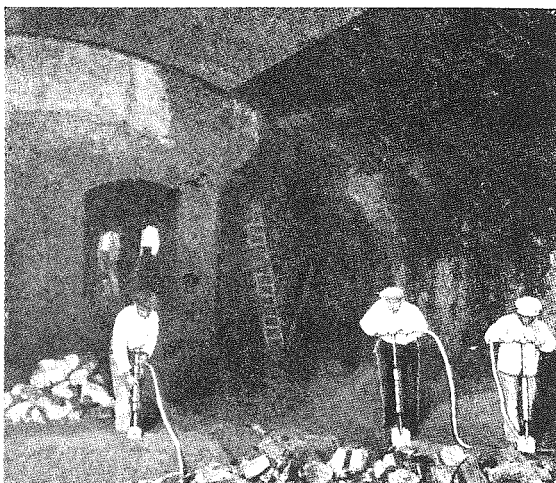
愈々出版せられました隧道工事編を今回手にして其内容を拜見する事になつたのは私に於ては實際非常な喜びでありました。私は忙しい時間を都合しつゝ、四日程で概略眼を通しました。

内容の全體を通じて何處に氏の實行の特長があるご云ふ點を見ません、尾三電

力の社長關口氏は本書の序文に於て名文を以て編者の態度なり本書の内容なりを激賞してをられますが、私達第三者から見るご物足りない點が多いのであります。

4

工事界に對して私達の望むものは眞劍なる技術家の體驗であります、少くも自分の抱負を以て現場に出て萬難を排して多少でも自分の努力を樂み得た記録が欲しかつた、然し西畑氏の此の著に對して私は西畑氏のオリジナルが何處にも見られないとを遺憾に思ふものである。



(A) 圖はスペインマドリッド市の地下鐵道でニューマチックのクレイツガーを使ひ粘土を掘つてなる狀景(最近のインガーソルパンフレットより)
Trench and Clay Diggers Picking Hard Clay in Excavation Work at a Station in Subway, Madrid, Spain. Ingersoll-Rand Portable on Street Above Supplies Air Power.